

## 経 営 方 針

### 1. 経営の基本方針

当社は、「誠意」と「創意」を経営信条とし、この信条に溢れた仕事こそが、人々の心からの満足と共感を得られ、真の社会への貢献につながると考えております。また、株主や取引先、社員などすべての協力者との相互繁栄を期すことを経営理念に掲げ、日々事業活動に取り組んでいます。

### 2. 利益配分に関する基本方針

そのため、当社は、株主皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、業績と財務状況等を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本に実施しています。また、内部留保資金につきましては、将来の成長分野への設備投資や特長商品及び独自デバイスの開発、さらには海外展開や環境対策などに活用すると共に、キャッシュフロー重視の経営を推進し、経営基盤の一層の強化を通じて、株主皆様のご期待にお応えしてまいりたい所存であります。

### 3. 中長期的な経営戦略と会社の対処すべき課題

エレクトロニクス業界では、デジタル化、ネットワーク化、放送・通信の融合などが急速に進展しており、情報技術の飛躍的な発展とインターネットの急速な普及は、あらゆる産業分野において、ユーザーニーズの大きな変化と新たな事業機会の創出をもたらしています。当社はこうした状況を大きなビジネスチャンスと捉え、全社あげて総合的な事業戦略を推進してまいります。

まず、当社の強みである液晶事業の徹底した強化を図ります。「世界ナンバーワン液晶技術の確立と高付加価値化」をめざし、技術開発・特許・生産・販売・投資などあらゆる分野で取り組みを強化してまいります。次に、IC事業については選択と集中を徹底し、フラッシュメモリや液晶用LSI、CCDなど重点成長分野において当社独自デバイスの開発に力を注いでおります。また、地球環境への関心の高まりと共に成長が期待されるエナジーデバイスについては、特に太陽電池の重点的な開発強化を行います。一方、商品事業については、特長デバイスを搭載し、ネットワークとの接続性を高めたオンリーワン商品の創出を図るため、2005年に国内のすべてのカラーテレビを液晶に置き換えるという目標に向けた液晶テレビのフルライン展開や、ザウルスを核とした各種情報機器、ネットワーク白物家電の拡充などにつとめてまいります。また、グローバルな経営資源を有効活用すべく、国際有力企業との技術提携や協業を積極的におし進めます。

さらに、当社は地球環境保全を、経営上の重要な課題として捉え、循環型社会の構築と、環境に配慮した商品の開発、生産を進めておりますが、昨年12月には合併でリサイクル会社を設立し、この4月からは国内の全事業所で資材のグリーン調達制度を推進しています。その他環境会計の導入により、効率的な環境対策を行うなど、今後とも環境先進企業としての取り組みを強化いたします。

このような事業戦略の展開により、収益性や株主価値、資金効率の観点から、重点経営指標の株主資本利益率(ROE)、総資本利益率(ROA)、フリーキャッシュフローの向上を図り、企業価値の拡大をめざしています。